

## 6月7日まで水道週間

# 見直そう 暮らしと 命を守る水

日本の水需要は、経済の発展や生活水準の向上に伴って、近年著しく増大してきました。

明治二十三年に、わが国最初の近代的な水道が給水を始め、以来、約一世紀の歳月がたちますが、この間に水道は急速に普及し、昭和三十四年にわずか四八・七%であった普及率が、今日では九三・六%と、めざましい発展をとげました。水は生命の源です。いまや水道は、わたしたちの健康で文化的な日常生活を支えるかけがえのない施設です。

六月七日まで水道週間です。蛇口をひねると、いつでもきれいな水がジャーツと出るといいう水道の利便性に慣れすぎています。いま、ぜひ水の大切さを見直し、水についての理解を深めたいものです。

### 水道料金の納入は口座振替に



水道料金の納入には、便利な口座振替制度をご利用ください。

口座振替は、市内各銀行、信用組合、労働金庫、農協、郵便局で取り扱っています。また、

大館信用組合比内支店、みちのく銀行比内支店、羽後銀行扇田支店、秋田銀行田代支店でも取り扱っています。

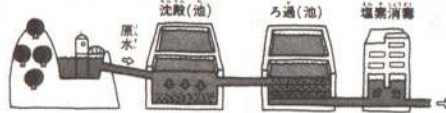
預金通帳、印鑑、水道料金の領収書か検針票を持参のうえ、口座をお持ちの金融機関へお申し込みください。

水道についてのお問い合わせは、市水道課(☎42-4117)へ。

## 水道なぜなぜ問答?

Q1、水道の水は、なぜ「安全」か。

「安全な水を送る」  
 原水(自然のままの水)から、有害な物質や、微生物などを取りのぞき、安全なものにしていくからです。そのしくみが「沈殿ろ過」塩素消毒です。これを施設的にまとめたのが「浄水場」です。原水がきれいな地下水のところでは消毒だけのところもあります。



Q2、一人一日何の水を使うか。

平均約三百七十六リットルです。全国には、大きささまざまな水道が約一万七千五百カ所あります。この施設から一年間に送り出す水



道の量は約百四十三億立方リットル。これを一日に一人が使う量で見ると、百万人以上の都市で四百九億のに対し、一人以下のところでは三百四十四億とかなり開きがありますが、平均すると、約三百七十六リットルです。

Q3、十円で水道の水は何杯飲めるか。

なんと十リットルのバケツで八・六杯飲めます。それでは、ほかに十円でどれぐらいのものが買えるでしょうか。



水道は、一日もかかすことのない出来ぬものですから、できるだけ安くするようにがんばっていますが、きれいな水源が、少なくなるとつづつあるため遠くから水を求めるなど、水道をつくるのに多くのお金が必要となります。水道の水は大事に使いたしましょう。

### 63年度 広報市民リポーター決まる

市民の皆さんから公募していた広報市民リポーターは次の六人に決まりました。皆さんに親しまれる広報づくりを目指して、広報市民リポーターには来年三月まで広報編集に参加していただきます。

- 〈広報市民リポーター〉
- ・伊藤 正行さん(美園町)
  - ・菅原 馨さん(葛原)
  - ・前沢 綾子さん(相染沢中岱)
  - ・石川 富男さん(水門前)
  - ・畠山 智子さん(相染沢中岱)
  - ・成田 弘美さん(柄沢)

### 市民文化会館主催事業 劇団銅鑼公演

## 燃える雪

とき・7月22日(金)

午後6時30分開演

ところ・市民文化会館大ホール

入場料・S席2,500円  
A席2,000円  
B席1,500円

※チケットの発売は6月15日からです。次のプレイガイドどうぞ。  
 ▽市民文化会館、正札竹村、秋北バス本社観光案内所、秋北バスターミナル旅行案内所、いとくショッピングセンター、又久書店、大森商店、阿部履物店